

ZOOしずおか



第51号
2001

静岡市立日本平動物園



ナマケグマの嫁入り

平成13年5月10日に長年飼育していたナマケグマ(雌)が札幌の円山動物園へ嫁入りしました。

目次

- 動物園ニュース2~7
 - ・生まれた主な動物たち
 - ・死んでしまった主な動物たち
 - ・行事や出来事
- 飼育レポート8~9
- 特集 動物園の歩き方10~13
- 春の写生大会14
- フォトコンテスト15
- 動物園の好記録・珍記録16~19
- 動物園こぼれ話20~22
- 友の会だより23~24



表紙の写真

ブチハイエナ (食肉目：ハイエナ科)

夜行性で昼間は茂みや穴にひそみ、日が暮れるとつがいか群れで食べ物を捜しにでます。アフリカ全土に生息しています。

生まれた主な動物たち

平成13年

| | | |
|-------|--------------------|----------|
| 1月7日 | シロガオサキ | 1頭 |
| 10日 | ジェフロイクモザル | 1頭 |
| 2月16日 | シロガオマーモセット | 1頭 |
| 26日 | フンボルトペンギン | 1羽 |
| 3月29日 | エンペラータマリン | 1頭 |
| 18日 | ヤギ | 2頭 |
| 6月2日 | ワタボウシパンシエ シシオザル | 2頭 1頭 |



◎ジェフロイクモザル

1月7日、ジェフロイクモザルの赤ちゃんが生まれました。名前は、世界の平和を願って、「ピース」と名付けました。お母さん(ハート)の胸にしっかり抱かれて、元気に育っています。お父さんも名前はホープといいます。是非私を見て来てください。待ってま〜す!



◎エンペラータマリン

3月29日、エンペラータマリンの赤ちゃんが生まれました。まだ、お父さんやお母さんのように、立派な髭はないけど口の周りは白い毛が生えています。お母さん・お父さんの背中で元気にしています。僕を探するのは難しいかもしれないけど、会いに来てください。

死んでしまった主な動物たち

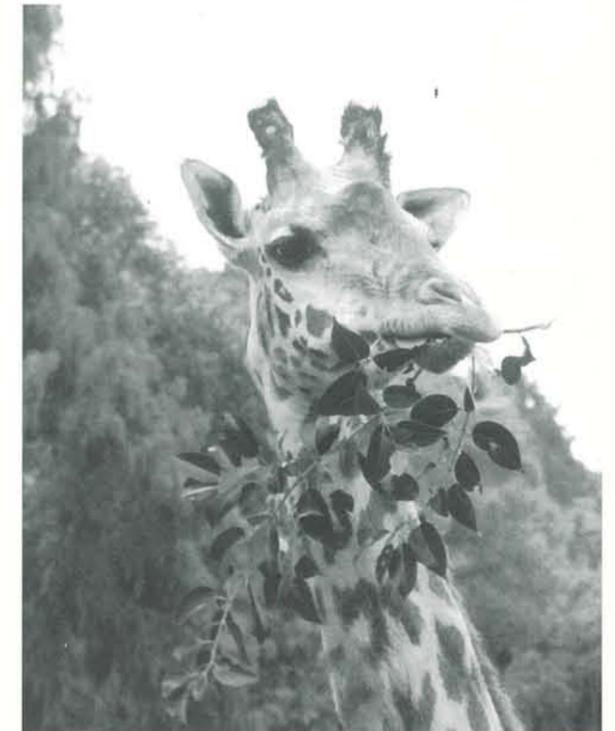
平成13年

| | | | | | |
|------|---------------|-------|-------------------------|-------|---------------|
| 1月9日 | ショウジョウトキ ♂ | 3月5日 | ミーアキャット ♀ | 4月22日 | マサイキリン ♀ |
| | 死 因：心筋炎 | | 死 因：再生不良性貧血 | | 愛 称：キッコ |
| | 飼育期間：24年(推定) | | 飼育期間：2年8ヶ月 | | 死 因：敗血症 |
| | | | | | 飼育期間：12年9ヶ月 |
| 20日 | サンタレムマーモセット ♀ | 18日 | レッサーパンダ ♀ | 22日 | エロンガーターリクガメ ♀ |
| | 死 因：胆石症 | | 愛 称：カアサン | | 死 因：代謝不全 |
| | 飼育期間：14年9ヶ月 | | 死 因：膵臓癌 | | 飼育期間：11年1ヶ月 |
| | | | 飼育期間：4年1ヶ月 (推定年齢14才) | | |
| 6日 | コモンマーモセット ♂ | 4月18日 | フサホロホロチョウ ♂ | 5月15日 | グリーンイグアナ ♀ |
| | 死 因：心筋炎 | | 死 因：腸炎 | | 死 因：代謝不全 |
| | 飼育期間：6年2ヶ月 | | 飼育期間：30年4ヶ月 | | 飼育期間：3年7ヶ月 |
| 24日 | ダイアナモンキー ♂ | | | | |
| | 死 因：糖尿病 | | | | |
| | 飼育期間：20年9ヶ月 | | | | |



◎レッサーパンダ(♀・カアサン)

3月18日、4年間(推定年齢14才)皆様に愛されてきた、日本平動物園のシンボル動物・レッサーパンダ「カアサン・♀」が膵臓癌のため亡くなりました。長い間、本当に私達の心を和ましてくれました。ありがとうございました。



◎マサイキリン(♀・キッコ)

4月22日、マサイキリンの♀キッコが、寝ダコからの細菌感染により、治療・介護のいかなく、敗血症のため13年の歳月を閉じました。アメリカから来た、トッポ♂との繁殖を目前に残念でした。安らかに眠りください。

その他の動物たちの主な出来事

平成13年

- 1月2日 は虫類館にて干支展開催する
インドニシキヘビの取材有り
- 7日 類人猿舎ボイラー故障により、ファンヒーター2機設置し暖をとる
シロエリオオハム1羽保護する
- 9日 アムールトラ交尾を確認する(♀尾上行動を示す)
- 15日 園内の池に飛来する、カモ目の調査実施する(マガモ142・カルガモ・30・コガモ19・オナガガモ10羽ほか計239羽確認する)
- 24日 ミナミシロサイ♂・20才が秋吉台自然動物公園より来園サイ太郎二世と命名する



◎ミナミシロサイ来園

1月24日、待ちに待ったミナミシロサイ(♂・20才)が秋吉台からやってきました。長旅の疲れもなく、また入舎時の心配もなく元気に、餌を食べてくれました。名前はサイ太郎二世です、会いに来てください。

- 30日 オオアリクイ リキ・♀・1才2ヶ月、上野動物園へ、BLにて出園する
- 2月2日 ヒョウ(ヒョウタ・♂)右前肢治療のため入院する
- 8日 フンボルトペンギンの卵、豊橋動物園より寄贈される
- 13日 オグロマーモセット、4頭来園する
- 16日 何年ぶりかの大雪で、オランウータン、チンパンジー、興奮する
- 26日 ミナミシロサイ、放飼場に出しお見合いさす、目立ったトラブルはない
- 3月3日 カリフォルニアアシカ、子レンジ、母親の攻撃を受けるため病院にて離乳を図る(生後249日目)
- 9日 フルマカモメ(白色型の希少固体)1羽保護する
- 19日 チンパンジー コニー(♀)妊娠判定陽性、6月下旬～7月中旬出産予定
- 30日 タンチョウ(♀)伊豆アンディーランドより来園する
- 4月1日 フタユビナマケモノ2頭、つめ切りを行う
- 10日 タンチョウ(♂・♀)を同居させる、トラブル特になし
- 12日 マサイキリン(♀)キッコ動きなく食欲不振におちいる抗生剤・ホルモン剤の投与を行う
- 16日 ジェフロイクモザル(♂)ホープ異常に興奮し、ボートを揺すり敷板を持って行く

23日 オランウータン(♀)ジュリー多摩動物園より来園する



◎オランウータン来園
4月23日、オランウータン(ジュリー・♀・34才)が多摩動物園よりやって来ました。一人ぼっちで寂しかった、ジュン(♂)もきくと喜んでくれると思います。まだ、同居までには至っていませんが、いつか一緒に居る姿を見ることが出来ると思います。

- 5月1日 オランウータン(♀)ジュリー、一週間経過したが全く部屋に移動をしない、採食は良好である
- 3日 ヒョウ、ヒョウタ♂前肢の治療終了、ヒョウ舎へ退院する
- 7日 キジ舎、猛禽舎に改造するため、ニジキジ、シロカケイ病院に移動する
- 9日 ナマケグマ、円山動物園へ移動のため麻酔を実施する(3回発作を認める)
- 10日 ナマケグマのナマケちゃん(♀・17才)円山動物園へお嫁入りする(BL)

5月10日、17年間市民の皆様へ愛されてきたナマケグマの(♀・ナマケちゃん・17才)が札幌円山動物園へお嫁さんとして出園しました、二世が誕生する事を期待します。



- 14日 ハイエナ子供、DNA鑑定のため麻酔下にて採毛する
- 19日 コウラウン1羽巣立ちする
- 21日 オオアリクイ(♀)ガンコ279日ぶりにオオアリクイ舎に戻る(19才・279日目)
- 28日 タヌキ4頭、栃木県民の森より来園する
- 6月1日 オオアリクイ(♀)ガンコかなり落ちついている
- 3日 オランウータンジュリー、本日部屋の移動スムーズに行う
- 6日 ミナミシロサイ(♀)仕切り棒を滑り越えて放飼場で一緒にいるがトラブルは認めず
- 11日 キジ舎工事のため、ヒゲワシ病院に移動する
コンコルド、すり替え卵の雛♀親が食殺する

行事や出来事

平成13年

- 1月2日 2001年初の開園、干支展を開催する
- 8日 オートチェアー・ローラースライダー乗降者、20万人達成記念開催する
- 17日 ジェフロイクモザル・シロガオサキの子供の取材各社有り
- 21日 ZOOスポットガイド「池に飛来するカモについて」実施
- 23日 干支に因み「へびについて」公演会
於：ブケ東海
- 30日 動物園教育ソフト研究会、実施

- 2月5日 動物園職員研修会講演会実施「飼育の基本とその回想録」講師：元上野動物園職員
川口幸雄氏
- 10日 日本テレビ、ズームイン朝ジェフロイクモザル取材あり
- 18日 ZOOスポットガイド「中型サル舎ご案内」実施
- 19日 教育普及、爬虫類の飼育について、茶臼山動物園より2名来園
- 21日 全国動物園水族館獣医臨床研究会(ZAVG)静岡市にて開催
- 27日 ローランドゴリラ拡大繁殖検討会議(於：上野動物園)海野副主幹・小野田主任出席



1月8日、昨年オープンしたオートチェアー・ローラースライダーの利用者が20万人達成したことを祝い、20万人達成記念を行いました。



1月21日、「池に飛来するカモ達について」ZOOスポットガイドを実施しました、寒い季節にもかかわらず多くの方が説明を聞いてくれました。



1月2日、干支のへびにちなみ、は虫類館でへび展を開催しました。多くのお客さんが、は虫類館に来館してくれました。



2月5日、動物園恒例の研修会(講演会)を開催しました。「飼育の基本とその回想録」について、元上野動物園職員ゾウの飼育第一人者の川口幸雄先生に、ご講演願いました。

行事や出来事

- 3月7日 動物園教育ソフト研究会、実施
- 8日 猛獣脱出捕獲訓練、(クマの脱出を想定) 実施 報道各社取材有り
- 11日 友の会例会「一日飼育教室」実施
- 12日 講演会「動物園の楽しみ方」於：東豊田幼稚園
- 17日 木製ベンチ贈呈式、清水第6中学より2脚贈呈される
- 20日 ガイドボランティア新人研修会実施、参加者41名
- 25日 講演会「動物園の動物達について」於：城北公民館
- 31日 12年度、50万人来園者達成記念実施、記念品等の贈呈式を行う

- 4月1日 新年度により、次長他3名着任する
 - 本日より堆肥の回収、開園前に実施(専任制とする)
 - 来場者多数により渋滞、閉園時間30分延長する
 - 日本平マラソン開催、園長来賓として出席
 - ヒトの檻のリニューアル!背景を動物達の世界とした
- 6日 ヤギの入学式「小布杉小学校ヤギ贈呈」
- 15日 ZOOスポットガイド「類人猿について」実施
- 24日 子供動物園、前期幼児教室開催「双葉幼稚園24名」
- 29日 ゴールデンウィーク突入、シャトルバス運行開始。

- 5月2日 地場産品チャリティー即売会開催(6日まで)
- 3日 ヒッジの毛刈りイベント開催(5日まで)
- 4日 早朝より来園者多数のため開園時間を15分早める
 - キルギス共和国4名来園、獣舎説明を行う
 - ゾウサンデー開催
 - 子供ウルトラクイズ実施
- 6日 市民クラウン大道芸開催
- 16日 ブロッキングホーン舎建築会議(財政・企画・公建)
- 23日 日本平動物園水族館協会・総会・協議会於大津市(25日まで) 大村主幹出席
- 27日 ボーイスカウト、動物触れ合い教室実施(子供動物園)
- 28日 タヌキ4頭譲り受けに、栃木県・県民の森へ出張する

- 6月4日 希少動物繁殖検討会議(6日まで) 於：横浜繁殖センター 海野副主幹出席
- 7日 中部ブロック飼育技術勉強会(8日まで) 於：東海大学海洋博物館 佐野飼育員出席
- 13日 中部ブロック獣医師研究会(14日まで) 於：いしかわ動物園 川島副主幹出席
- 17日 ZOOスポットガイド「アメリカバイソンについて」実施
 - 野点の会開催
- 20日 甲府遊亀動物園モルモット5頭搬入、職員3名来園



3月8日、今回はクマが脱出したことを想定し、捕獲訓練を行いました。動物園職員をはじめ、関係者全員が真剣に訓練に参加しました。



5月4日、ゴールデンウィーク真っただ中、ZOOフレンドデー・ゾウサンデーを実施しました。ゾウの説明・寝部屋見学と様々な催しのため、多数のお客さんが参加してくれました。

4月1日、「ヒトの檻」のリニューアルを行いました。背景にいろいろな動物たちがいて、大人にも子供にも大好評です。



4月15日、「類人猿について」ZOOスポットガイドを、実施しました。ヒトに一番近い動物達のことなので様々な質問が飛び出し大好評でした。また類人猿舎にも案内しました。



飼育レポート

「フンボルトペンギンの有精卵移動による新しい血統の導入」

静岡市立日本平動物園 飼育課 清水 定夫

はじめに

現在、フンボルトペンギンはワシントン条約で最も厳しく取り扱いが制限されている動物のひとつとなっています。今後、野生個体の輸入などによる新しい血統を海外から供給することが難しいため、日本国内の飼育施設全体で協力しあって健全な種の保存に努めなければなりません。日本平動物園でも年々血統管理が難しくなり近親繁殖のおそれが出てきたため、豊橋総合動植物公園の協力を得、新しい血統を導入することになりました。

卵の輸送から仮親による育雛までの経過

フンボルトペンギンの移動は個体にストレスがかかり死亡率が高いため、有精卵の状態でも移動させることになりました。つまり、豊橋のペアが抱卵している卵を輸送して、日本平のペアの卵とすり替えて彼らに育ててもらおうというのです。

2000年4月に契約が成立したのですが、なかなか両園の産卵期がかみ合いません。ようやく2001年2月2日に日本平のペアに産卵が確認され、1月13日に産卵された豊橋の卵とすり替えることができました。

<親の来歴>

豊橋ペア ♂ 国内登録番号 72 (1966 年来園時すでに成鳥)
 ♀ 国内登録番号 1242 (1994. 04. 12 豊橋生)

日本平ペア ♂ 国内登録番号 1562 (1995. 05. 21 日本平生)
 ♀ 国内登録番号 1029 (1990. 01. 25 日本平生)

* 日本国内のフンボルトペンギンには全て登録番号がつけられ、血統管理されている。
 * 日本平ペアは親子関係 (N01562♂は N01029♀の子) にあるが、N01029♀は子育てがうまくいので今回の試みの成功が期待された。

<輸送の方法>

輸送に用いる保温箱として、クーラーボックスの内側に発泡スチロール板を張り、底に湯たんぼ(ポリエチレン製 2 リットル) を置き、その上にステンレス製の網を載せたものを用意しました。乾燥を防ぐために濡れタオルを入れ、網の上にリング箱に入っている紙製のケースを敷いて卵の台座とし、卵のすぐ近くに温度計を置きました。箱の中の温度を 30 度以上、40 度未満に保つために、湯たんぼの湯の温度(外気温など周囲の環境により調節が必要) を変えるなどのテストを何度も行い、約 5 時間適温を保てることを確認しました。(写真 1)

<輸送中の保温箱内の温度変化>

2001 年 2 月 8 日 日本平動物園～東名高速～豊橋総合動植物公園～東名高速～日本平動物園

| | | 箱内の温度 | |
|-------|------------|-------|----------------------|
| 10:07 | 日本平動物園発 | 39℃ | 湯たんぼに入れた湯の温度は 56℃ |
| 12:40 | 豊橋総合動植物公園着 | 40℃ | 車揺れと日差しで温度上がる |
| 14:10 | 保温箱に入れる | 35℃ | 2 卵のうち 1 卵は有精卵と確認できた |
| 14:30 | 豊橋総合動植物公園発 | 33℃ | |
| 17:00 | 日本平動物園着 | 33℃ | 到着するまで 33℃で安定していた |

(写真 1) 保温箱一式



<卵のすり替え>

日本平動物園到着後再度検卵しても、有精卵であることは 2 卵のうち 1 卵しか確認できませんでした。

2 月 8 日 17:20 に日本平ペアが抱卵していた 2 卵と豊橋からの 2 卵をすり替えましたが、その際抱卵していた NO. 1029♀は驚いて巣穴から出てしまいました。

翌日朝には、NO. 1029♀が抱卵している姿を確認し、その後、2 月 26 日に孵化が確認されるまで♂と♀が交代で抱卵し続けました。

<孵化とヒナの成鳥>

| | 孵化後日数 | |
|------------|-------|-------------------------|
| 2001/02/26 | 1 日目 | 1 羽のヒナが孵化しているのを初めて確認 |
| 2001/02/28 | | 残りの 1 卵が無精卵だったので巣から取り出す |
| 2001/05/04 | 68 日目 | ヒナがプール内で泳ぐのを確認 |
| 2001/05/21 | 85 日目 | 自力採食できず親からエサをもらっている |

(写真 2)

孵化後 18 日目の巣穴内のヒナ



(写真 3)

孵化後 65 日目



(写真 4)

孵化後 70 日目のヒナ (中央) と仮親



まとめと考察

現在、ヒナは育ての親の下で順調に成育しています。抱卵中の有精卵の数時間に及ぶ輸送とすり替え、仮親による抱卵、育雛という一連のプロジェクトは日本平動物園では初めての試みでした。成功した要因としては、輸送中の保温箱内を適温に保てたことと仮親となった日本平ペアが面倒見の良い子育て上手であったことが考えられます。

フンボルトペンギンの孵化までの抱卵日数は約 45～50 日間といわれており、今回は豊橋ペアによる抱卵が 27 日間、日本平ペアによる抱卵が 18 日間の合計 45 日間でした。日本平ペアが抱卵した期間は、自分達の卵と豊橋の卵の日数を合わせても 24 日間にしかならず、孵化しても自分達のヒナという認識をせず育雛を放棄するのではないかとあやぶまれましたが、きちんと子育てをしてくれました。

また、人工孵化→人工育雛という手段よりもこのように仮親に育ててもらう方が、ヒナがペンギン社会に馴染み易いと考えられます。今後は、ただ数を増やすというのではなく、飼育下でもより自然な状態での繁殖に近づけるよう努力して行きたいと思います。

パート4の今回は「アメリカバイソン、フライングケージ、マサイキリン、アジアゾウ」たちを紹介します。アメリカバイソンは、パッと見ると茶色の小山のようで、そのたたずんだ姿は勇ましい感じがします。また、グリーンのかな大きなフライングケージには何種類もの美しい鳥たちがみんなを待っています。そして、動物園の人気動物でもあるマサイキリンやアジアゾウは体が大きく存在感もあり見応え十分です。

いずれにしても、どれも大きな動物や獣舎ばかりなので急がずゆっくり、じっくりと動物たちを観察してくださいね!!

アメリカバイソン

オスの「マック」は見た目とは裏腹に意外とおくびょうな性格で、ビックリ屋さんです。その反対にメスの「モモ」は、マックよりも体が小さいのに落ち着きがありしっかり者なのです。



エサを食べるシーンもこれまた迫力があります。オリ越しにすぐ近くで見ることができます。担当者いわく国内の動物園の中では、一番近くで見れるのではないかとのことです。



ちなみに「マック」は、昭和44年の開園記念として、静岡市の姉妹都市であるアメリカのオハーマ市より寄贈されたペアの子孫にあたります!!



マックはときどき、重さが50kgはあるトラックのタイヤを頭突きで、いとも簡単に空中へ突き飛ばしたりします。この迫力あるシーンを見ることができたら本当にラッキーですよ!!

フライングケージ

この大きなケージの中には、16種類もの鳥たちがいて、珍しい鳥から普段見慣れているスズメ(体が小さいから勝手に入ってきちゃうんです!!)まですぐそばで見ることができます。でも、近くで見れる分、気をつけなければならないことがあります。それは上空からの「鳥フン爆弾」です!!

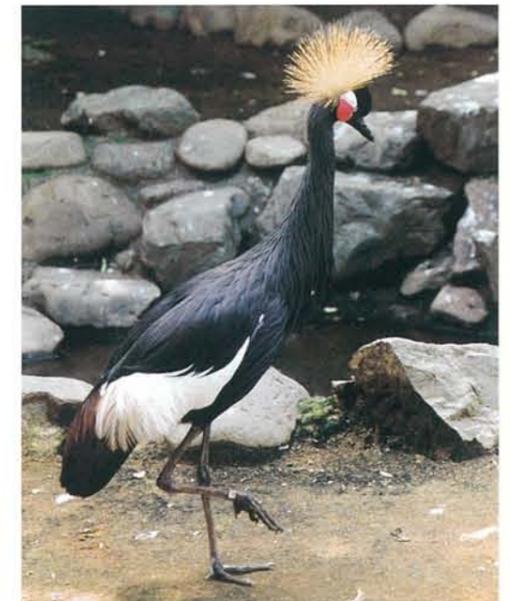
ケージ内の通路を走り回る子供たちに鳥たちがビックリして思わずフンをしてしまうのです。静かにゆっくりと観察してくださいね…。



体の色や形は似ていますが、ベニヘラサギとショウジョウトキは「コウノトリ目」で、フラミンゴは「フラミンゴ目」とそれぞれ種類が違う鳥です。ちなみに、フラミンゴは木にとまれませんので、あしからず…。

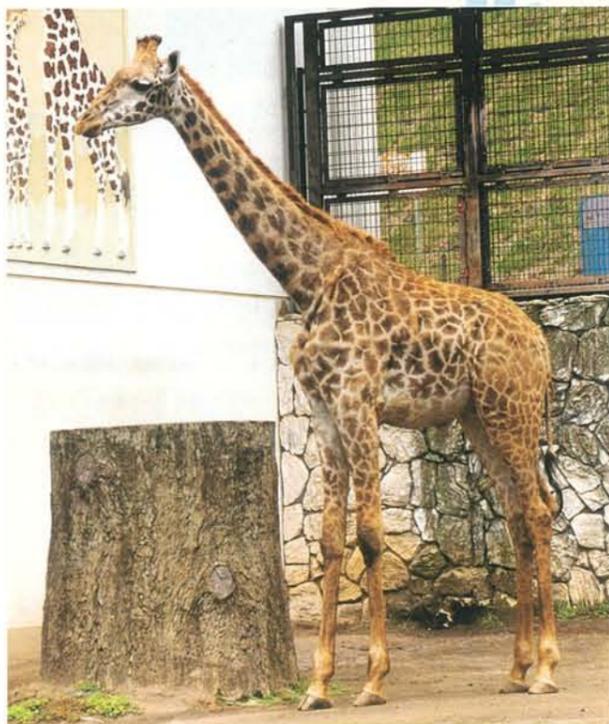
ピンク色の「ベニヘラサギ」と朱色の「ショウジョウトキ」は体の色が派手なので、ひと目見ですぐに分かります。だけど、木のてっぺんとまっているこの鳥たちを見て、ときどき「あっ、フラミンゴだ!!」と言う人がいます。でも、決してフラミンゴではないのでおまちがえのないように…。

頭の上に金色の美しい飾り羽根のある「カンムリヅル」は、フライングケージのボス的存在です。体つきも大きく、性格もキツイので他の鳥たちからは、いち目置かれています。



マサイキリン

平成10年10月2日に来園したマサイキリンの「トッポ」(平成8年7月6日生まれ、5歳)は、アメリカのカンザスシティの動物園から来ました。性格は少し神経質ですが人なつっこいところもあり、みんなから親しまれています。また5歳と若く、顔つきも少し幼さが残っているためか、「かわいい顔だね」とか「いい目をしているね」なんてよく言われるんですよ。



ごご2時30分からの「葉っぱのプレゼント」は、来園者にとっても人気があります。プレゼントタイムは、30分で終わるのですが、来園者の多い日には行列ができるほどで、1時間も行う時もあるほどです。また、どちらかというと小さなお子さんよりも大人の方が恐る恐るだったり、舌の長さに驚いたりリアクションがいいんですよ!!

キリンは40cm以上もある長い舌を木の枝葉に巻きつけ、ひっぱりながら口の中に取り込んで食べます。私たちの手や腕と同じ役目をするのです。

大きなキリンの姿ばかりに目がいきがちですが、放飼場と園路との間にある水堀りにも、小さな住人がいるのをご存じでしたか？藻の繁殖を抑えるために、飼育担当者が2年前に数匹の「金魚」を放したのですが、それらが繁殖をくりかえして、今では約300匹にも数を増やしています。

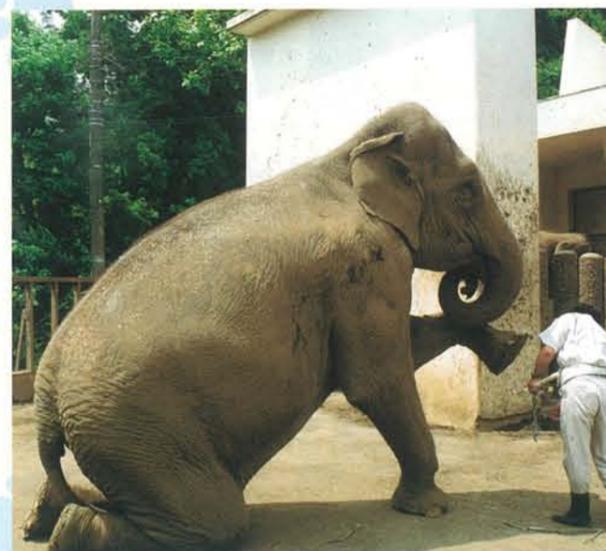


アジアゾウ

突然ですが、みなさんは「ダンボ」と「シャンティ」を見分けられますか？耳の上部が前に折れ曲がっているのがシャンティなので、ひと目で見分けることができますよ!!
ダンボはメスなのに気性の荒い性格でシャンティは、おっとりとしてマイペースなタイプです。姿かたちは似ているのに、性格はぜんぜん違います。



「ダンボ」と「シャンティ」は昭和44年の開園当時からいる数少ない動物園の一員です。

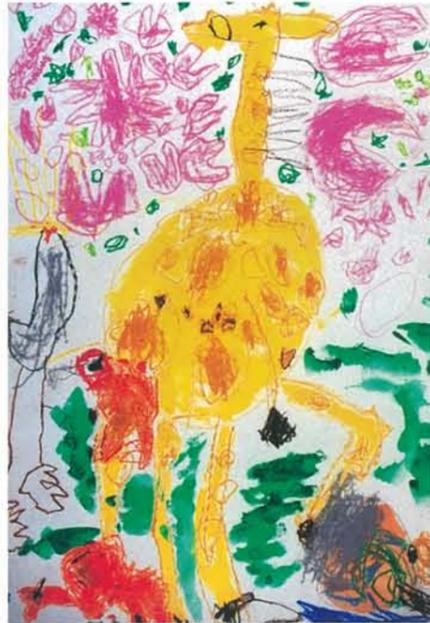


毎日の日課として、ごご1時15分頃からゾウの健康管理や飼育員とのコミュニケーションを目的とした「調教」を行っています。声をかけたり、棒を使っていろいろな動作をするように指示をします。賢いゾウたちは、あしを上げたり、回ったり、ふせなどの動作をあの大きな体をゆっくりと動かして器用にこなします。

ごご3時30分頃になるとゾウたちは、大きなプールに入って「水あび」をします。水あびと言ってもただジャブジャブと水をあびるだけじゃありません。プールに体を沈めて、しかも2頭いっしょにザブーン、ザブーンと入るので、それはもう豪快な入りっぷりで、迫力満点です。



県知事賞



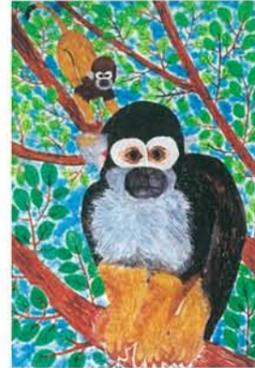
新屋幼稚園 年中
佐藤 央章

日本動物園・水族館協会賞



幼児
峰 慎平

中日賞



大里中学校 1年
後藤 真耶

| 賞 | 氏名 | 学校名 | 学年 |
|--------------|----------|-------------|----|
| 県知事賞 | 佐藤 央章 | 新屋幼稚園 | 年中 |
| 日本動物園・水族館協会賞 | 峰 慎平 | | 幼児 |
| 中日賞 | 後藤 真耶 | 大里中学校 | 中1 |
| 金賞 | 望月 朗成 | 常葉大学附属橘小学校 | 2年 |
| | 佐藤 友理 | 東小学校 | 2年 |
| 銀賞 | 後藤 高彰 | 中田小学校 | 4年 |
| | 宮城島 巧 | 静岡若葉幼稚園 | 年長 |
| | 成瀬 端紀 | 大里西小学校 | 1年 |
| | 加畑 輝樹 | 静岡大学附属静岡小学校 | 3年 |
| | 大町 理未 | 森下小学校 | 4年 |
| | 安本 由佳 | 富士見小学校 | 5年 |
| | 梅原 愛 | 中島中学校 | 中3 |
| | 大町 悟史 | 八幡聖母幼稚園 | 年長 |
| | 河原 宏治 | 青島小学校 | 1年 |
| | 加畑 嘉希 | 静岡大学附属静岡小学校 | 1年 |
| 銅賞 | 宮本 たける | 川原小学校 | 1年 |
| | 夏目 雅人 | 西小学校 | 2年 |
| | 藤巻 祥平 | 静岡大学附属静岡小学校 | 2年 |
| | 服部 匡起 | 静岡大学附属静岡小学校 | 3年 |
| | 寺沢 りゅういち | 天間小学校 | 3年 |
| | 松山 涼 | 横内小学校 | 3年 |
| | 河原 有志 | 青島小学校 | 4年 |
| | 藤牧 明日香 | 竜南小学校 | 4年 |
| | 寺沢 美波 | 天間小学校 | 5年 |
| | 水野 あやか | 中島小学校 | 5年 |
| | 藤村 名佳子 | 第四小学校 | 5年 |
| | 青柳 翔太 | 城北小学校 | 6年 |
| | 水野 督志 | 中島小学校 | 6年 |
| | 大町 晋矢 | 森下小学校 | 6年 |
| | 大塚 麻由 | 中島小学校 | 6年 |
| 瀧 千尋 | 第七中学校 | 中1 | |
| 小野 遥 | 静岡学園中学校 | 中3 | |

一般の部 特選



「夫婦 (めおと)」 松永 愛子

♪一般の部♪

| 賞区分 | 氏名 | 画題 |
|-----|-------|-----------|
| 特選 | 松永愛子 | 夫婦 (めおと) |
| 準特選 | 岩本元光 | 友情 |
| | 笠井昇 | 赤ちゃん誕生 |
| 入選 | 小林禎子 | ジャンプしているね |
| | 石上欣吾 | ふれあい |
| | 原田 勇 | 水泳教室 |
| | 稲葉浩正 | 母子 (おやこ) |
| | 名倉啓人 | ママといっしょ |
| | 杉山元次 | この足何の足? |
| | 鈴木恵美子 | 動物園の春 |

♪スナップの部♪

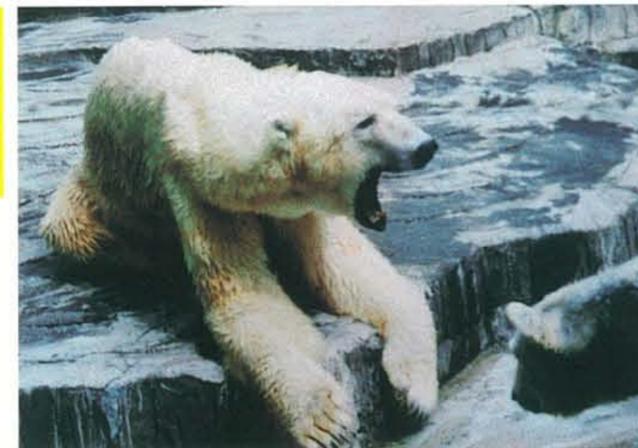
| 賞区分 | 氏名 | 画題 |
|-----|------|-----------------|
| 特選 | 小澤公義 | ぼくも協力するよ |
| 準特選 | 石川一郎 | これがピヨちゃんだよ |
| | 松永浩一 | 小象に乗った小僧さん |
| 入選 | 佐藤雅子 | キャー!すごいスピードのいい! |
| | 杉山裕子 | 身体検査してるんだよ |
| | 森田純仁 | おばあちゃんと汽車に乗る |

スナップの部 特選



「ぼくも協力するよ」 小澤 公義

学生の部 特選



「ガオ!？」 江口 豊信

♪学生の部♪

| 賞区分 | 氏名 | 画題 |
|-----|------|-----------|
| 特選 | 江口豊信 | ガオ!? |
| 入選 | 大長規浩 | ぼくを見つめないで |
| | 大野洋輔 | じろ |
| | 生川和寛 | 何がいます? |
| | 竹下祥太 | 脱獄計画 |

日本平の好記録、珍記録

飼育課 小島 昭一

★★★保護動物ベスト10★★★ 鳥類編

前号(50号)では哺乳動物の保護収容状況について報告しましたので、今回は鳥類の30年間における収容状況について報告します。鳥類については哺乳動物にくらべて種類も数も多くそのすべてを紹介することが出来ませんのでベスト20位それ以後は比較的珍しい種類の鳥を表にのせてみました。

30年間に保護収容した種類は191種総数で8,964点、年平均すると298.80羽の鳥が保護収容されております。



2位 キジバト

保護収容鳥類一覧表

1969~1999

| 順位 | 種類 | 69~88年 | 年平均 | 89~99年 | 年平均 | 69~99年 | 年平均 |
|-----|------------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|
| 1 | ツバメ | 625 | 31.25 | 1016 | 101.60 | 1641 | 54.70 |
| 2 | キジバト | 283 | 14.15 | 821 | 82.10 | 1104 | 36.80 |
| 3 | スズメ | 181 | 9.05 | 496 | 49.60 | 677 | 22.57 |
| 4 | ドバト | 149 | 7.45 | 464 | 46.40 | 613 | 20.43 |
| 5 | ゴイサギ | 288 | 14.40 | 188 | 18.80 | 476 | 15.87 |
| 6 | ムクドリ | 181 | 9.05 | 282 | 28.20 | 463 | 15.43 |
| 7 | ヒメアマツバメ | 164 | 8.20 | 158 | 15.80 | 322 | 10.73 |
| 8 | カルガモ | 121 | 6.05 | 142 | 14.20 | 263 | 8.77 |
| 9 | トビ | 109 | 5.45 | 98 | 9.80 | 207 | 6.90 |
| 10 | コシアカツバメ | 99 | 4.95 | 83 | 8.30 | 182 | 6.07 |
| 11 | ヒヨドリ | 34 | 1.70 | 134 | 13.40 | 168 | 5.60 |
| 12 | アオバズク | 96 | 4.80 | 44 | 4.40 | 140 | 4.67 |
| 13 | コサギ | 25 | 1.25 | 89 | 8.90 | 114 | 3.80 |
| 14 | ニホンキジ | 37 | 1.85 | 63 | 6.30 | 100 | 3.33 |
| 15 | ハシボソミズナギドリ | 78 | 3.90 | 17 | 1.70 | 95 | 3.17 |
| 16 | ハシボソガラス | 32 | 1.60 | 55 | 5.50 | 87 | 2.90 |
| 17 | オオコノハズク | 60 | 3.00 | 19 | 1.90 | 79 | 2.63 |
| 18 | カワラヒワ | 30 | 1.50 | 48 | 4.80 | 78 | 2.60 |
| 19 | メジロ | 35 | 1.75 | 41 | 4.10 | 76 | 2.53 |
| 20 | ツグミ | 17 | 0.85 | 47 | 4.70 | 64 | 2.13 |
| 21 | フクロウ | 38 | 1.90 | 23 | 2.30 | 61 | 2.03 |
| 31 | ユリカモメ | 18 | 0.90 | 25 | 2.50 | 43 | 1.43 |
| 42 | セキレイ | 13 | 0.65 | 19 | 1.90 | 32 | 1.07 |
| 50 | ノスリ | 13 | 0.65 | 13 | 1.30 | 26 | 0.87 |
| 62 | ヤマセミ | 7 | 0.35 | 9 | 0.9 | 16 | 0.53 |
| 72 | コノハズク | 8 | 0.40 | 3 | 0.3 | 11 | 0.37 |
| 92 | カンムリカイツブリ | 2 | 0.10 | 5 | 0.5 | 7 | 0.23 |
| 114 | コアホウドリ | 2 | 0.10 | 2 | 0.2 | 4 | 0.13 |
| 122 | オオハム | 2 | 0.10 | 1 | 0.1 | 3 | 0.10 |
| 153 | アホウドリ | 0 | 0 | 1 | 0.1 | 1 | 0.03 |
| | 合計191種 | | | | | 8964 | |

30年間の保護収容状況を表で見てもなんとといってもダントツなのがツバメです。1969～88年の20年間に625羽、年平均31.25羽の保護がされ、89～99年の10年間ではその3倍の1016羽、年平均101.60羽と保護の数がふえています。人家ののきさきなどに巣を作り雛をかえすためよくヘビやその他の害敵などにより雛が巣から落ちたのを保護し、動物園にもってきてくれる数が年々増えています。

次にキジバトが上げられます。69～88年に283羽、年平均14.15羽があとの20年間では821羽、年平均82.10と年々増加の傾向にあります。キジバトの場合もほとんどが雛でくることが多くなっています。

第3位がスズメの677羽、年平均22.57羽が上げられます。雛で巣から落ちて保護され元気に育って飛びたっている数もツバメやスズメの雛が比較的多く見られます。

第4位、ドバト、613羽、年平均22.57羽、保護される個体のほとんどが成鳥で外傷による原因がほとんどで野生にかえすことはほとんどありません。

第5位、ゴイサギ、30年間保護数が年平均して15.8羽と変化がもっとも少ない鳥のひとつです。動物園の上の池で繁殖した個体が餌を食べに市内の小川や田に飛びたち、交通事故などにあって保護されてもどってくることもあります。

第6位、ムクドリ、463羽、年平均すると15.43羽でほとんどが雛で保護されてきます。人家の周辺で繁殖している種類であることが良く解ります。

第7位、ヒメアマツバメ、30年間で322羽、年平均して10.73羽、ほとんどが巣から落ちた雛です。この鳥は市の鳥として指定されている静岡市の代表的な鳥のひとつです。ミルオームなどの餌を与えて飛べるようになったら放鳥しています。

第8位、カルガモ、動物園の池にも留鳥として一年中みられる鳥ですが雛や、外傷による保護が年に8羽ぐらいきます。元気になると池に放鳥しています。



8位 カルガモ

第9位、トビ、これはほとんど成鳥で外傷による保護ですが羽の傷が多く、野生に戻るのが非常にむずかしい種類です。

第10位、コシアカツバメ、182羽で平均6.07羽、日本平の展望台やその周辺で良く繁殖しています。ときおり動物園のゾウ舎の、のき下でも繁殖が見られることがありました。これも雛の保護がほとんどです。

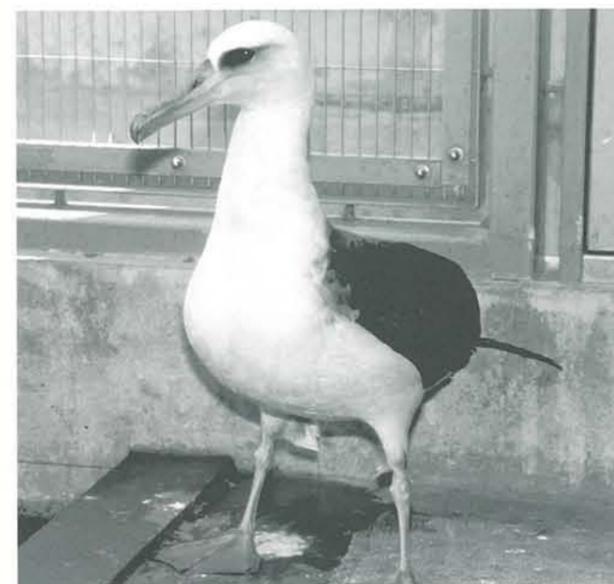
第11位以後の鳥については表を参考にしてください。30年間の間に特に収容数の少ないもの、珍しい種類を次に上げてみました。62位のヤマセミ、30年間で、16羽、92位のカンムリカイツブリ、7羽、114位、コアホドリ4羽、122位のオオハム、3羽、153位のアホドリ、1羽などが上げられます。終りに30年間に1羽だけ収容された種類はアホドリを含めて38種が上げられます。



62位 ヤマセミ



92位 カンムリカイツブリ



114位 コアホドリ



153位 アホドリの幼鳥

動物園 こぼればなし Part I

松永 亨

【アジアゾウ シャンティの困ったクセ】

皆さん、誰にもクセというものはあると思いますが、動物園の動物達にもけっこうクセはあるんですね。でも、たいがい動物園の動物にクセがあるなんて時はあまり歓迎できないものがほとんどなんです。同じ所をグルグル回り続けたり、体を揺すり続けたり、自分で自分の毛をむしってしまったり、また自分の足を噛んで傷つけてしまったりと、精神的ストレスからくる本来野生下では見られない行動が動物園の動物達には多かれ少なかれどうしても宿命のようにつきまどってしまっています。最近ではそうした行動をなくすよう調査・研究し、なるべくストレスを与えない飼育環境をつくり本来の生息環境に近づける（エンリッチメントなどという言葉で形容されておりますが）、なかなかこの動物園でも試行錯誤といったところではないでしょうか。

そんななか、うちのゾウさんのシャンティ（32オメス）にも困ったクセがあります。それは石を食べてしまうという事です。うちのゾウ舎の放飼場は土とコンクリートでできていますが、土の部分掘りおこし底のほうから出てくる小石をパクパク食べてしまうから大変です。そして食べた小石がそのまま便の中に混じって出てくるのです。中にはこぶし大ほどもある大きな石が出てきた事もあり、多い日にはチリトリに半分以上もの大量の小石が出てくる時も多々ありました。これを解消しようと竹を与えたりエサを増やしたりしてみましたが、ストレスとクセなのかどうしても石をパクついてしまいます。便の中に出てきた石は、朝清掃する際にチリトリに取って獣舎裏の隅に捨てていますが、ここ6・7年の間にいつのまにか石の捨て場に山が出来上がってしまいました。こんなにたくさんの石が便の中から出てきたのかと思うと、ちょっとビックリではあります。

クセだからと言っている内は良い事ではありませんがまだ救われているとは思いますが、これが原因、もしくはそれに拘わる要因で病気にでもなってしまうたら一大事です。そんな事にならないよう飼育係として良い改善策を立てなければ……



山となってしまった石・石・石……

動物園 こぼればなし Part II

鈴木 和明

【ヒツジの毛刈り】

毎年5月のゴールデンウィークにはヒツジの毛刈りを実施しています。

人間は羊毛を取るために「ムフロン」という野生のヒツジを改良し、あのようなモコモコと毛をいっぱい蓄えたヒツジにしたててきました。あまりにもたくさんの毛をつけているために、暑い夏は過ごせないのです。そのまま毛を刈らざとくと、人間がセーターとオーバーを重ね着しているようなもので、体温が下がらず「熱射病」とか「熱中症」とかで倒れてしまうのです。ですから、暑い夏がくる前に毛を刈ってあげて、涼しく夏を過ごさせてあげるのです。また、人間もたくさんの毛をもらって自分たちの衣類をはじめ生活に大いに役立てています。

日本平動物園では昨年までは「コリデール種」の「クロちゃん」1頭だったのですが、クロちゃんの大ファンから「1頭ではかわいそうだから仲間を増やしてあげて」と強い希望があり、今年3月に「サフォーク種」で「クック」と「プリン」の2頭（みんなメス）がお目見えしました。「サフォーク種」はジンギスカンで有名な肉用種として改良されたものなので、もともといたクロちゃんよりも体はずっと大きく、体も気も小さなクロちゃんは、隅のほうで遠慮がちに暮らしています。

さて、毛刈りですが、今年は5月3日～5日の3日間、1日1頭づつ行いました。皆さんは「ヒツジの毛刈り」といって、大きなバリカンを使って、1頭のヒツジをあっという間に丸裸にしてしまう姿をテレビなどで目にしているのではないのでしょうか……

私たちがイメージはそんなつもりでいたのですが……昨年はそうだったのですが、バリカンの調子が悪く（実は私が壊した）、最初から最後までハサミを使う羽目になったのです。また、長い時間押さえつけられたうえ、なれないハサミを使ったためにいたるところを傷つけてしまい、見学しているお客さんからは「傷だらけでかわいそう」とか、「トラ刈りだね」と言われ、ヒツジ達には大変申し訳ないことをしたと反省しています。来年はバリカンも修理し、ヒツジ達にストレスをかけずに、さっそうと毛刈りをするところをお目にかけたと思っています。



みんなうまく刈れたかな～？

新職員紹介



次長 仁田 健

この度、4月の人事異動に伴い水産漁港課から動物園にきました仁田です。

今年は、21世紀始まりの年であり、自然、環境問題等について地球規模で考えていかなければならない時代を迎える中で日本平動物園の果たす役割は、ますます大きくなります。自然とのふれあいの場、子供を対象とした社会教育の場、レクリエーションの場として市民に喜んでもらえる動物園にしたいと思っておりますので宜しくお願いします。

飼育課 川島美昭

この度、4月の人事異動により飼育課に配属となりました川島です。静岡市に奉職してから二十余年の間、一貫して食品衛生課など保健所内で勤務し、公衆衛生業務に携わってまいりました。

突然の動物園への異動、今までの人に対しての食中毒などの予防業務から、園内の動物たちの衛生及び治療業務へと変わり、はたして無事に勤まるのか、不安と戸惑いのうちに動物園勤務が始まり、ようやく1ヶ月が過ぎたというのが実感です。

動物園は、子供にとって、もちろん大人にとっても親しみのある動物たちと触れ合いの持てる素晴らしい場所だと思いますので、どうぞ、よろしく願い致します。



管理課 小林久男

この度、消防署を退職し日本平動物園管理課に非常勤嘱託で勤めることになりました小林久男です。

今までの仕事内容とまったく違った仕事でとまどっています。先輩方々に一日でも早く追いつき自分のした仕事が動物園関係者の皆さんに喜ばれ、また、来園してくれた子供たちの喜ぶ声を楽しみに頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

飼育課 杉本美喜子

非常勤嘱託として、働かせていただく事になりました杉本です。わからない事ばかりで勉強、勉強の毎日ですが、とても楽しく充実した日々を送っています。先輩方には何かとご迷惑をかける事と思いますが、一生懸命がんばりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



飼育課 石垣直美

4月よりアルバイトとして、飼育をやらせて頂く事になりました石垣直美です。高校卒業後の社会人第一歩が小さい頃からの夢であった日本平動物園で本当にうれしく思っています。飼育をしていく中で、注意力・観察力、その他に人付き合いを学びました。まだ、先輩方に迷惑をかけている事もありますが、これからは指導をお願いします。毎日精一杯やっていますが、今以上に力を入れていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



友の会だより

12月例会

○12月10日(日)

テーマ 「手作り教室」

ネイチャークラフトのまねごとを遊び感覚で学習した。ベニヤ板の切れ端や松ぼっくりを使って人形、動物の形に似せた作品が出来上がった。

常葉学園の先生に指導をいただいた。

(参加者 41人)

1月例会

○1月14日(日)

テーマ 「正月お楽しみ例会」

新年恒例のお楽しみ例会に、園と協会よりお祝いの言葉とプレゼントをいただき、福引大会の三角くじによる景品に歓声が上がる。外れの物ぬいぐるみをジャンケン勝ち抜き戦により進呈した。

役員・ボランティアがお世話する。

(参加者 130人)

平成12年度年間活動報告

- 1 会員数
個人会員 24人 家族会員 42家族166人
- 2 実施事業
毎月の動物園における例会の他、他園見学会で東京都上野動物公園を視察、夜の動物園見学会などを行なう。
動物園の行事にボランティアとして参加した。
- 3 会費など会計収支報告
収入金額 408,659円 (会費・補助金・その他)
支出金額 382,506円 (活動費・視察費・景品費・その他)
収支差引き 26,153円 翌年度繰越

2月例会

○2月11日(日)

テーマ 「スポットガイド」

レッサーパンダをテーマに動物園ガイドボランティアの説明を聞いた。知ってるようで知らない事が多く、クイズの回答にも合格点が取れずがっかりした。

飼育担当者の苦労話に興味深々の面持ちが見られた。

協力：ガイドボランティア

講師 こども動物園

(参加者 38人)

3月例会

○3月11日(日)

テーマ 「一日飼育教室」

18班編成各班2名、計36人の定員に30人の申し込みがあった。それぞれに飼育動物を割り当てて、一日の飼育の実際を飼育担当者に従って体験する。午後8時30分から午後4時までの長時間で相当疲れた様子が見られた。

児童・幼児班は、19人で午前中園内見学を、午後にボランティアによる折り紙教室やアニメのビデオ上映を行った。

友の会役員・ボランティア 8人



友の会だより

4月例会

○4月8日(日)
新年度の例会初日で、会員証の受け付けを行う。
新規会員も多く、動物園の現況を聞いて園内を見学する。
個人会員19人、家族会員29家族117人に会員証を交付した。

講師 小島副主幹

5月例会

○5月13日(日)
テーマ
「スポットガイド」
今回のスポットは、動物病院で、初めて病院内に入った会員が殆どで、診察室、手術室を見学した。
多く持ち込まれる野性の傷病動物の治療など獣医さんの話を聞く。

(参加者 63人)
講師 小島副主幹

ボランティア活動

○春の動物園まつり
4月8日(日) 動物と記念撮影
ボランティア 6人
4月30日(日) 5月5日の準備
ボランティア 13人
5月5日(祝) ZOOフレンドデー
ゾウサンデー・こどもウルトラクイズ
ボランティア 17人
クイズ参加者 122人



「写ルンです」も
フィルムが変わった。

さらに色鮮やか。

FUJICOLOR
写ルンです
アイ
スパ-Eye
800

